

## 第 5 回 IFMIF 研究会

### 開催日時:

平成 31 年 3 月 4 日(月)～ 5 日(火)

### 開催会場:

量子科学技術研究開発機構 六ヶ所核融合研究所 計算機棟(REC ルーム)

### テーマ :

ビームダイナミクスと超伝導加速器技術

### 議事次第:

#### 3 月 4 日(月)

12:14 七戸十和田着のはやぶさ 9 号

12:20 送迎バス JR 七戸十和田駅発→六ヶ所核融合研究所

13:30～13:35	開会の挨拶	坂本慶司(QST 六ヶ所研)
13:40～14:10	IFMIF 原型加速器の進捗と予定	近藤恵太郎(QST 六ヶ所研)
14:10～14:30	SRF に関する進捗と予定	蛭沢貴(QST 六ヶ所研)
14:30～15:00	Enhanced Phase-B の進捗と予定	下崎義人(KEK / QST 六ヶ所研)

#### コーヒーブレイク

15:10～15:40	compact ERL における加速器モデルの改良	宮島司(KEK)
15:40～16:10	大電力ハドロンリニアックのファイン・チューニング (1) J-PARC リニアック 60mA スタディーについて	劉勇(KEK)
16:10～16:40	大電力ハドロンリニアックのファイン・チューニング (2) J-PARC リニアック MEBT1 横・縦測定及びマッチングの改善	大谷将士(KEK)
16:40～17:10	RFQ を用いた BNCT システム	金田健一(株式会社 CICS)
17:10～17:55	ポスターセッション・コーヒーブレイク	

送迎バス(18:00 発) 六ヶ所核融合研究所→三沢市内ホテル

懇親会(19:30～) : 宝寿し 〒033-0001 青森県三沢市中央町3丁目2-1

3月5日(火)

送迎バス 7:45～ 三沢市内ホテル→六ヶ所核融合研究所

8:45～ IFMIF 原型加速器見学

記念撮影・コーヒープレーク

10:00～10:30 超伝導空洞の製造に関する最近の話題 道前武(KEK)

10:30～11:00 超伝導電子銃の開発：設計、製作、性能 許斐太郎(KEK)

11:00～11:30 エネルギー回収型超伝導加速器 c E R L における産業応用  
阪井寛志(KEK)

11:30～12:00 加速器分野への SiC パワーエレクトロニクス適用事例  
古久保雄二(福島 SiC 応用技研株式会社)

昼食

13:00～13:30 総合討論

13:30 送迎バス 六ヶ所核融合研究所発～JR 七戸十和田駅

14:53 七戸十和田発のはやぶさ 28 号

ポスターセッション(3月4日 17:10~17:55):

- ・ RFQによるミュオン加速とバンチ構造測定 大谷将士(KEK)
- ・ ミュオン加速用 APF IH-DTL プロトタイプの開発 大谷将士(KEK)
- ・ 低仕事関数物質 C12A7 エレクトライドによるミュオニウム負イオン生成実験 大谷将士(KEK)
- ・ フッ化物溶融塩中における中性子反応生成水素同位体の挙動 熊谷公紀(総研大)
- ・ iBNCT 加速器のコミッショニング状況 佐藤将春(KEK)
- ・ 東北大 FNL の D ガスターゲットの再整備と PHITS による特性評価 西谷健夫(NIFS)
- ・ KEK-PF における入射改善に関する研究 平野広太(広島大学)
- ・ 陰極近傍の空間電荷効果による  
電子ビームの径方向位相平面分布の自己線形化 増田開(京都大学)
- ・ 普及型重粒子線癌治療装置用超伝導コイルシステム開発のための基礎的研究 宮原信幸(QST 放医研)
  
- ・ IFMIF 原型加速器の進展と核融合中性子源 A-FNS 計画 春日井敦(QST 六ヶ所研)
- ・ 定在波回路を用いた 175MHz RFQ カプラーの RF 耐電力試験 前原直(QST 六ヶ所研)
- ・ IFMIF/EVEDA 原型加速器用 ACCT の精度向上検討(2) 平田洋介(QST 六ヶ所研)
- ・ IFMIF/EVEDA 原型加速器における RF システムの調整試験  
及び RFQ ビーム加速試験 新屋貴浩(QST 六ヶ所研)
- ・ IFMIF/EVEDA 原型加速器における RFQ 入射ビームの特性評価 赤木智哉(QST 六ヶ所研)